

主要事業評価シート(第1次実施計画/H29・30・R1年度)

① 基本事項	計画コード	事業名		部名	上下水道部	
	17013	下水道管渠長寿命化対策事業(みどり町、みずほ台地区)		課名	下水道課 下水道工務G	
	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上		財務科目	会計	14:公共下水道事業会計
	基本施策	03:上下水道の充実			款	資1:資本的支出
	施策の方向	02:生活排水対策の推進			項	01:建設改良費
戦略プロジェクト	-		目		01:管渠整備費	
事業予定期間	H 29 ~ R 17 年度	主な根拠法令要綱等	下水道法、都市計画法			

② 目的・概要	対象	下水道処理区域内の市民
	目的	公共下水道区域拡大による多額の投資的経費や施設の維持管理費等の増加が見込まれることから、ライフサイクルコストの低減及び更新時期の平準化により施設の延命化を図り、日常生活や社会活動に重大な影響を及ぼす事故発生や機能停止を未然に防止し、適切な維持管理に努める。
概要	下水道管設置後、特に年数が経過しているみどり町及びみずほ台の一部について、平成28年度に実施した管路状況調査を踏まえ、管更正工事及び布設替工事を施工する。	

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
③ 事業の計画・実績	年度計画	○管更生工事 一式 ○布設替工事 一式	○管更生工事 一式 ○布設替工事 一式	○管更生工事 一式 ○布設替工事 一式	
	年度実績	○管更生工事 L=477.1m ○布設替工事 L= 83.2m	○管更生工事 L=985.4m ○布設替工事 L=148.5m		
事業費	計画額	事業費	60,000千円	90,000千円	60,000千円
		国庫支出金	23,400千円	38,000千円	23,400千円
		県支出金			
		地方債	32,940千円	46,800千円	32,940千円
		その他			
		一般財源	3,660千円	5,200千円	3,660千円
	予算額(※)	事業費	60,000千円	24,100千円	
		国庫支出金	25,000千円	12,050千円	
		県支出金			
		地方債	32,000千円	0千円	
		その他			
		一般財源	3,000千円	12,050千円	0千円
決算額	事業費 ①	57,689千円	24,100千円		
	国庫支出金	25,000千円	12,050千円		
	県支出金				
	地方債	32,000千円	0千円		
	その他				
	一般財源	689千円	12,050千円	0千円	
人件費	総人件費 ②	7,679千円	2,568千円		
	一般職員	7,679千円	2,568千円		
	所要人員	1.00	0.33		
	臨時職員等	0千円	0千円		
総コスト(①+②)		65,368千円	26,668千円		
受益者負担率		0.0%	0.0%		

			平成29年度	平成30年度	令和元年度		
④ 指標	①	名称	整備率	計画値	24	48	71
			各年度末の整備率 (各年度整備延長/H32までの整備延長)	実績値	26	54	
				単位	%	%	%
	②	名称		計画値			
				実績値			
				単位			
	③	名称		計画値			
				実績値			
				単位			

⑤ 事業の改善	前回評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】 事業費が多額で事業期間が長期となるため、地域住民の工事についての理解を深め、事業を円滑に進める必要がある。 また、事業費の財源について国庫補助金を活用し、施設の耐用年数なども考慮して地方債の有効活用を検討する。
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】 工事説明会を開催し、工事内容の説明を実施した。 また、国補助金を有効に活用し、追加補正による補助金の増額を受け、事業進捗に努めた。

		評価	(判定)
⑥ 事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 計画どおりに工事発注を行い、令和2年度までの計画整備延長2,100mに対し、750mの経年劣化による破損管改築を計画していたが、既設埋設管の位置が想定と異なっていたことにより工法の変更が生じ、年度内完成ができず、工事の繰越を行った。 なお、国補助金の追加補正を受け、繰越工事で380mの管改築を追加発注する。	B まずまず実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 国の補正予算を活用し、計画指標である整備率について目標を達成することができ、ライフサイクルコストの低減等、適切な施設維持管理に寄与した。	B まずまず成果を得た

⑦ 今後の対応方針	課題	【課題は何か】 令和元年度に第1次長寿命化計画の事業が完了する見込みのため、第2次計画の検討準備を進める。 また、第2次計画については、現計画を検証したうえでさらに効率的な計画を策定する。	今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他 【その他の場合、その内容を記載】
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 適切な調査範囲の決定や現状施設、資料の再確認を実施し、次計画の熟度を向上させる。 また、事業費の財源について国庫補助金・地方債を有効活用し、資金計画についても十分に検討する。	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 ライフサイクルコストの軽減を図り、日常生活や社会活動に重大な影響を及ぼす事故発生や機能停止を防止し、適切な維持管理を実施できる。	
対応時期		令和元年度～2年度	

【1次評価者】	上下水道部 下水道課 下水道工務グループリーダー 黒田 康史
【最終評価者】	上下水道部 下水道課長 松尾 敏

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	B	B			
	成果	B	B			

※平成30年度予算額(事業費)の内訳について

予算額(事業費)		24,100 千円
内訳	平成29年度からの繰越額	0 千円
	平成30年度最終予算額	90,000 千円
	令和元年度への繰越額	△ 65,900 千円